



2019年10月31日

各 位

会 社 名 ホウライ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 谷澤 文彦
 (JASDAQ・コード9679)
 問 合 せ 先 取締役兼常務執行役員
 総合企画部長 萩尾 哲也
 電 話 03-3546-2924

減損損失の計上、並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、ゴルフ場に係る減損損失(特別損失)を計上すること、及び2018年10月30日付「2018年9月期 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました2019年9月期の業績予想について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の発生

当社のゴルフ事業の収益性の低下により、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、同事業用の固定資産について減損の兆候が認められたため回収可能性を検討した結果、回収可能価額が簿価を下回ったことから、回収可能価額と簿価との差額707百万円を減損損失として2019年9月期第4四半期会計期間において計上いたしました。

2. 2019年9月期 通期個別業績予想数値の修正 (2018年10月1日~2019年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	5,700	290	440	1,050	751.89
今回修正 (B)	5,399	160	361	302	216.94
増減額 (B-A)	△300	△129	△78	△747	—
増減率 (%)	△5.3	△44.6	△17.8	△71.1	—
(ご参考)前期実績 (2018年9月期)	5,335	227	431	342	245.02

3. 修正理由

当社は、2017年9月期を始期とし2019年9月期までの3ヶ年中期経営計画に基づき、各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めてまいりました。

その結果、施策面においては、保険事業でのお客様ニーズに的確に対応した提案活動等による取引拡大、不動産事業での銀座ホウライビル譲渡後の代替資産の一部購入など不動産ポートフォリオ見直しの進展、また千本松事業(千本松牧場・ゴルフ事業)では千本松牧場の乳製品ブランドの更なる浸透、ゴルフ場のコースコンディションやお客様へのサービス品質向上など着実に成果が出てきております。

当事業年度の業績面では、不動産事業を除くすべての事業部で営業収益は前期を上回り、営業総利益も保険事業・千本松牧場が減益となりますが不動産事業・ゴルフ事業の増益がカバーし、営業収益・営業総利益については、全体で増収・増益を確保する見込みです。しかしながら、計画比では売却した銀座ホウライビルの代替資産購入の遅れにより、銀座ホウライビルの賃料収入の減少をカバーするには至らなかったこと、千本松事業における施策の効果が十分に収益力の強化に反映されてきていないことによる影響や、ゴルフ場の減損損失計上も加わったことにより、営業収益~当期純利益まで前回予想を下回る見通しとなりましたので、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

以 上